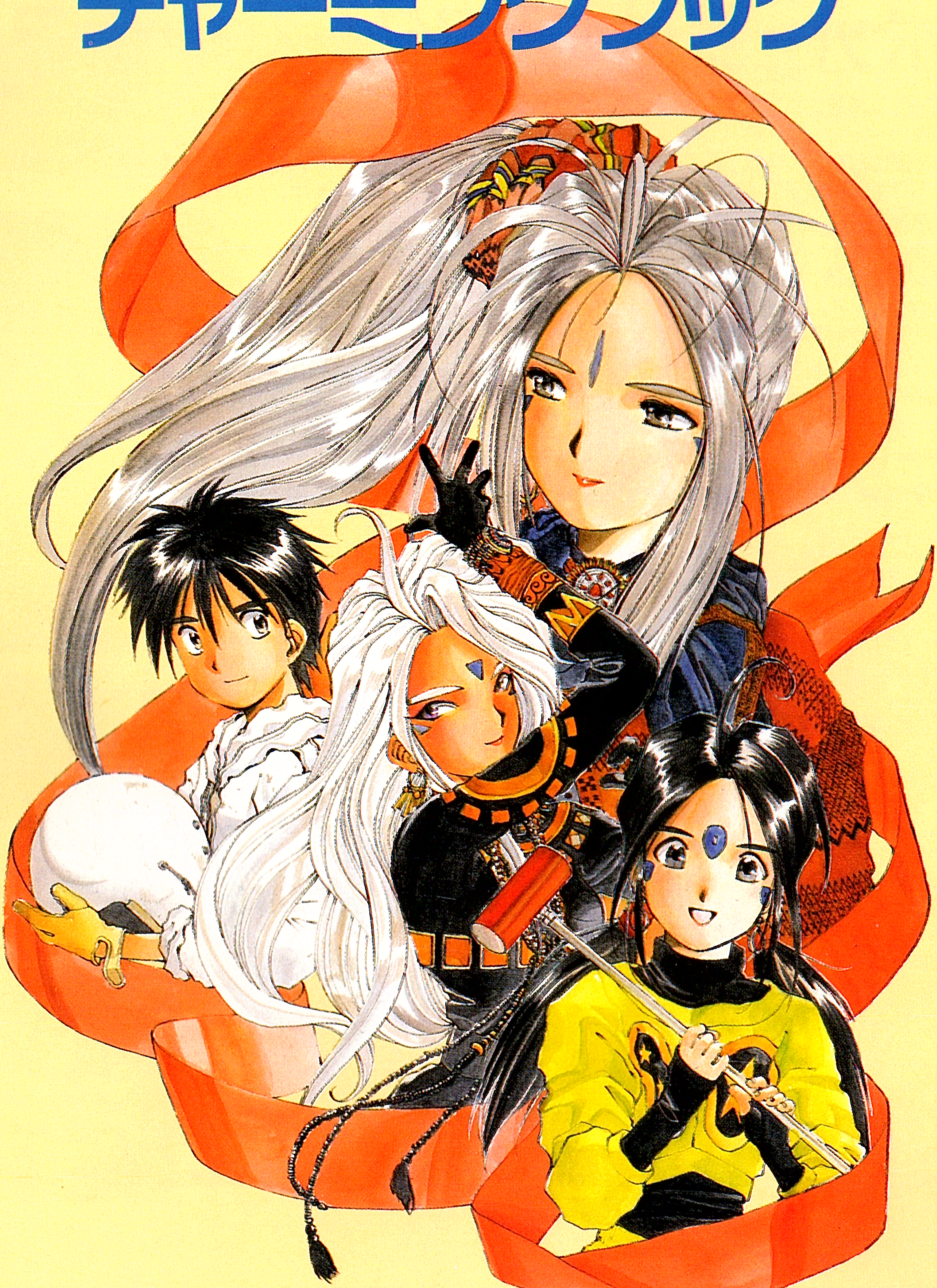
テクノポリス1993年５月号（第12巻第５号）付録
平成５年５月15日発行（毎月１回15日発行）

ああっ女神さまっ

チャーミングブック



目次

PC-9801シリーズ	3.5・5HD⑥	1万2800円

■発売元／バンプレスト(☎03-3847-6320)
■発売中
※ハードディスクに対応しています。
※CDサイズの「女神カレンダー」が付いています(初期出荷限定)

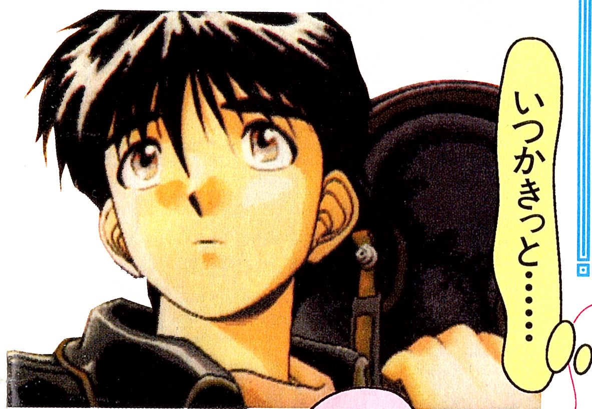
登場キャラをまとめて紹介!!

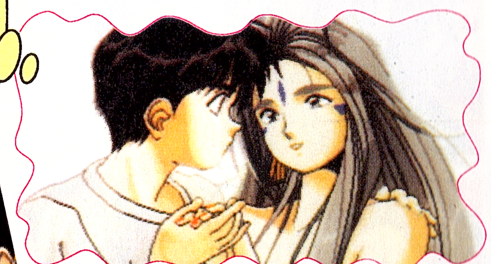
スポット・ザ・キャラクターズ

原作を読んで理解している読者も多いと思うけど、ここではキャラクタについて紹介していこう。なにか新発見ができるかもよ!?

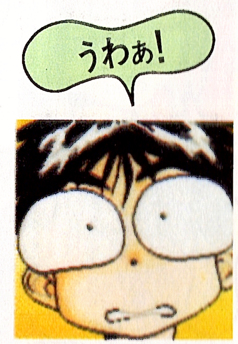
森里螢一

猫実工科大学に通う、ごく普通の大学生だった。ところがある日、間違えてかけた電話が偶然神界につながってしまい、ベルダンディーと運命的な(?)出会いをする。以来、女神3姉妹によって、さまざまなハプニングに巻き込まれるが、なんとか切り抜けているようだ。数々の試練を乗り越えるうちに、ベルダンディーと出会う以前の螢一にあった頼りなさはいつのまにか消え、立派な一人の好青年になったといっても文句はいわれまい。これはひとえに「恋愛効果(?)」のたまものであろうと賢明な人には予想がつく。大学の自動車部に所属し、メカには強い。最大の弱点は田宮、大滝両先輩ということも付け加えておこう。





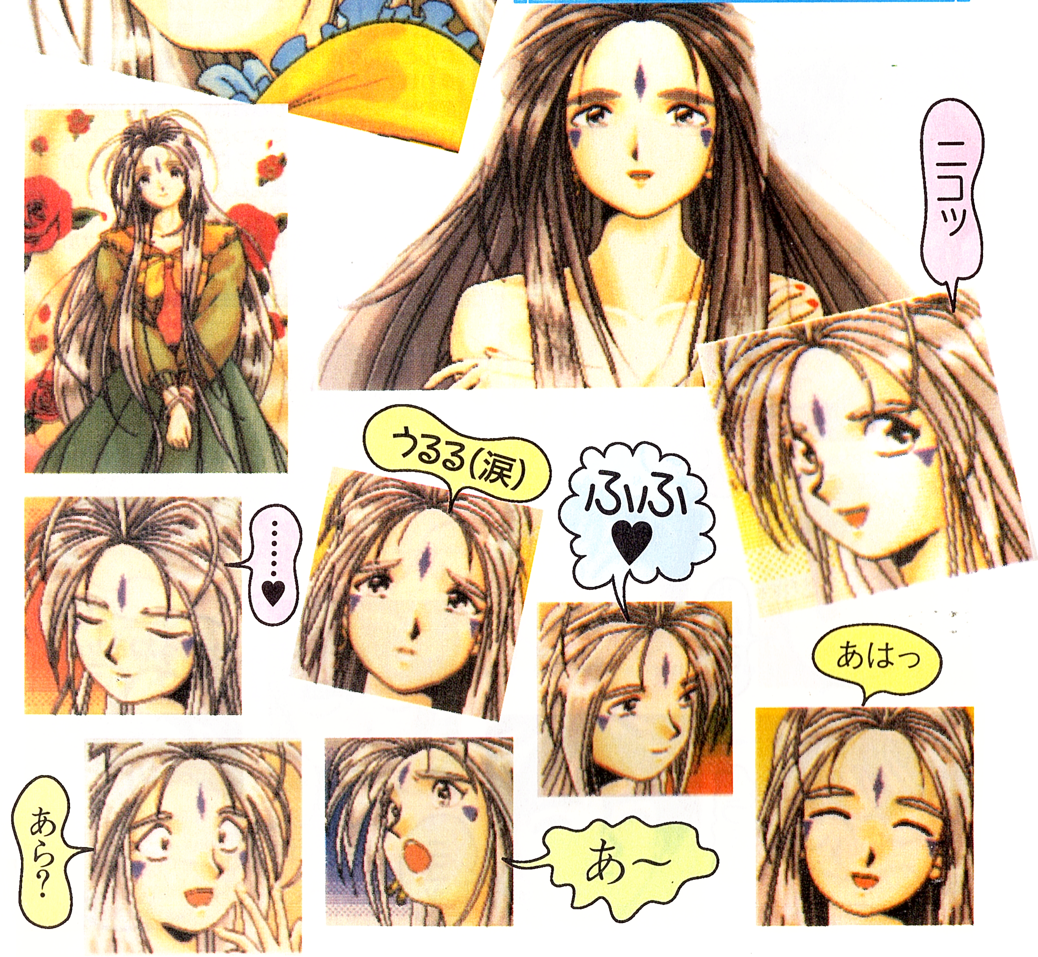




ベルダンディー

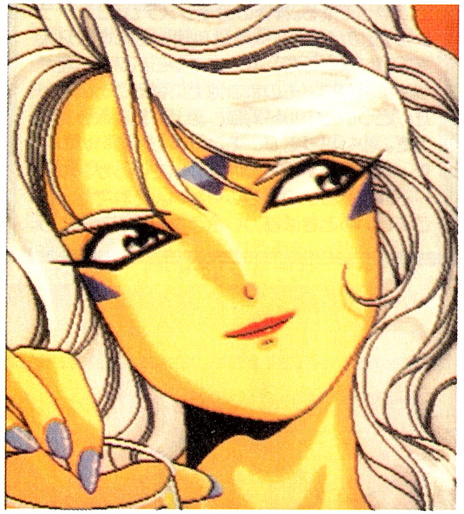
蛍一の間違い電話によって呼び出された、神界の女神様。1級神2種非限定免許(階級により魔法の威力が違う)を所有。蛍一の「君のような女神にずっとそばにいてほしい」という願いが神様に受理されて、地上にとどまっている。もっとも、蛍一に対して初めて出会ったときから好意(?)を持っていたようだが。女神だけあり絶大な力を発揮できるが(本人はそう思っていないようだ)、あまりに体力の消耗が激しいため、日に2～3回しか使えない。力を使いすぎると眠ってしまうというのが欠点だ。家事一般はなんなくこなす。中でも料理が得意で、その味は絶品という話。姉妹想いの優しい女神(?)なのだ。





ウルド

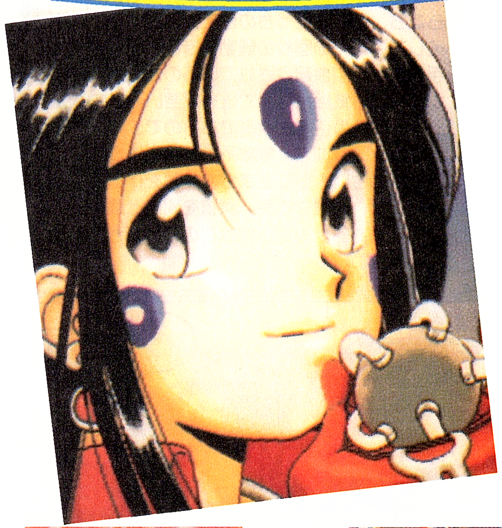
ベルダンディーの姉で、彼女より魔力があるのに、ウソをよくつくので(素行不良のためか?)2級神管理限定免許に止まっている。蛍一とベルダンディーの仲がなかなか進展しないのにいらだち、仕事をそっちのけで地上にやってくる。そして、蛍一の回りの騒動のほとんどが彼女の手によって引き起こされているのだ。ただし、本人には悪気はないので始末が悪い。じつは、恐怖の大王の正統継承者であるので、本当の力は恐ろしいはずだ。電撃系の攻撃魔法が使える。薬品の調合によってさまざまな薬を作ることができるが、料理は苦手。演歌を聞くと眠るという弱点もある。みこしばはこのタイプが好みだ(公私混同)。

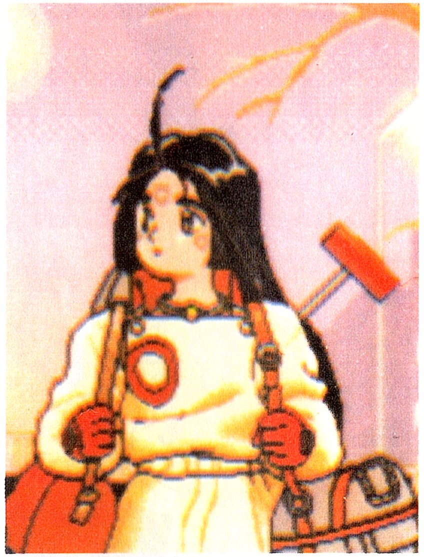


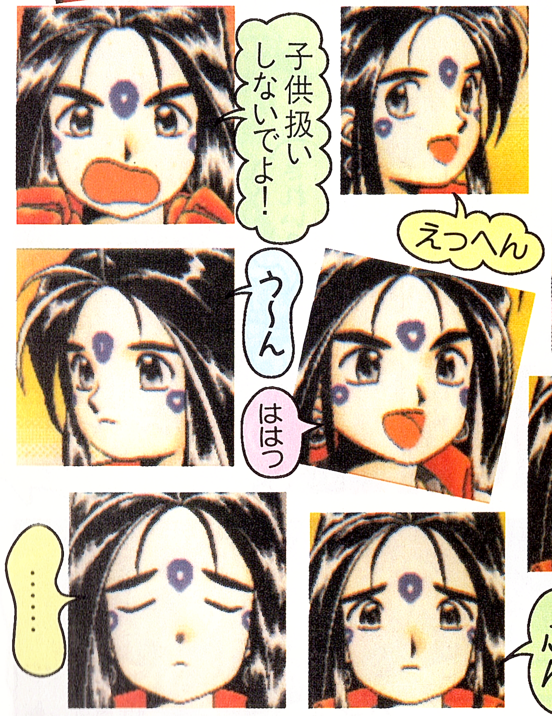


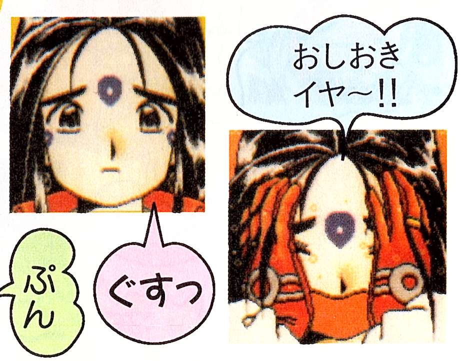
スクルド

2級神1種限定免許を持つ女神。機械の発明が得意であり、螢一の妹・恵を永遠のライバルと考えている。弱点は無意味なメカを見せられることで、ウルドからはよくこれでオシオキされているらしい。女神3姉妹の中では、最後に地上にやって来る。神界の管理システム（ユングラシル）上のバグを1人では処理しきれず姉2人を呼びに来たのだ。で、どうやらバグの処理がうまく終わり、そのまま地上に残ることになった。どうやらウルド同様、地上が気に入ったようだ。少しドジだが、そこがまたかわいいのだ♡ ベルダンディーにはなついているが、ウルドとは仲があまりよろしくない。それでも、ここぞというときは協力し合うからよしとしよう。









マーラー

1級非限定魔であり、悪魔事務所随一の使い手である。ベルダンディーら、女神3姉妹とは幼なじみ。田宮先輩が購入したCDにより召喚された。当初は沙夜子と手を組み、ベルダンディーと螢一を引き離そうと画策。周りの人間に多大な迷惑をかける（とくに螢一兄妹）。ベルダンディーらの活躍により、ことなきを得る。弱点は縁起物とロックミュージック。とくにロックを聞くと踊りだすというからおもしろい。風ぼうは一見男のようだね。一部ではベルダンディーの美しさをねたみ、悪いことをしているのだとのうわさもある。

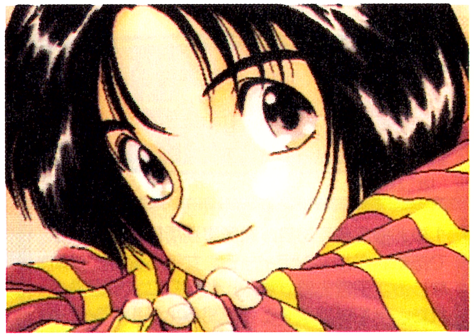


田宮先輩

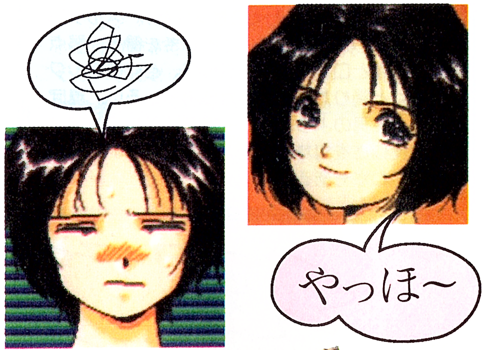
猫実工科大学自動車部の部長を務める、ちょっと（とっても）変わった人物。顔と同じく、とってもアクが強い性格だ。とても大学生とは思えないくらいに……。副部長の大滝とは仲がよく、いつも飲み歩いている。部活では、螢一を鍛えると称するイジメ（もっとも、彼はちっともそのように思っていないが……）の数々……。冬でもタンクトップ1枚で過ごすというから、立派な変人ではないだろうか？ 以上のようなことから、登場回数が少ないサブキャラの割に、とってもよく目立っているってわけ。もしかすると、主役を張れるかも!?



森里 恵

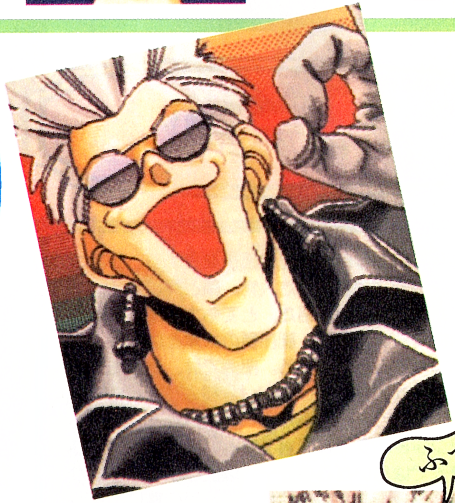


蛍一の2歳違いの妹だ。田舎から上京して、兄の通う工科工業大学に入学する。メカの知識では蛍一を超えるという実力者で、スクルドには一方的にライバル視されているが、恵自身はまったくそれに気づいていない。むしろ、ベルダンディーに対して密かにライバル心があるかもしれない。学校から徒歩10分の2K(築4年)に住んでいる(3級地霊付き)。登場人物のうちでは、もっともまともな人物のため、あまり目立っていないというのも悲しい……。もう少し目立ってもいいと思うのだが(まあ、これ以上はムリか)。





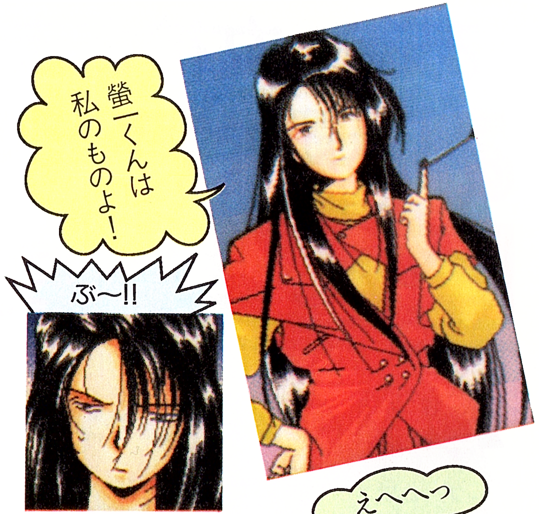
大滝先輩



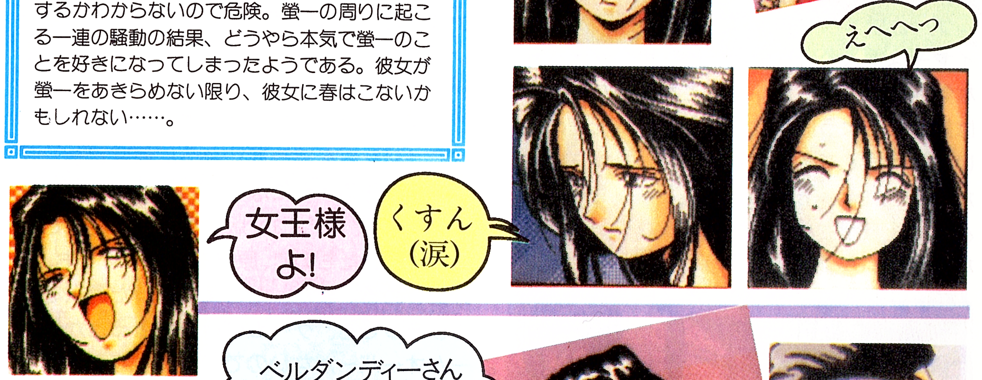
猫実工科大学自動車部の副部長を務めている人物。見た目はパンク系の人のようだ。田宮とはよき友だち関係にある。甲冑やパンダのぬいぐるみなど、奇抜なファッションを身上としているようだ？　で、普段着の皮ジャンの中は工具でいっぱいになっている(まるで溶接工版ブ○ックジャックみたい)。また、この若さで妻(許嫁かも？)あり。そのコは、学校内でも5本の指に数えられるほど、人気者だった女のコだ。そのコを落としたところをみると、彼の人間的な魅力がうかがえる(本当かな～……？)。いやはや、人生というものはわからない。



三嶋沙夜子



蛍一が工科工業大学入学直後に声をかけたが、それに対して見向きもしなかった女のコ。で、ベルダンディーがやって来て学園の女王様の座から滑り落ちてしまった（と本人は思い込んでいる)。そこで、彼女に悔しい思いをさせようと、蛍一をターゲットとして近づいていく。現在ではやや平穏を保ちつつある状態だが、いつ爆発するかわからないので危険。蛍一の周りに起こる一連の騒動の結果、どうやら本気で蛍一のことを好きになってしまったようである。彼女が蛍一をあきらめない限り、彼女に春はこないかもしれない……。



青嶋紀元



まるでプレイボーイを絵に描いたような男で、通信工学科の1年生。今までねらった女のコは、必ずモノにしているというスゴウデなのだ。ベルダンディーの魅力に引かれて、自動車部に入部する。そして、ことあるごとに蛍一とベルダンディーの仲を引き裂こうとしているのだ。その結果(?)、新たに四輪部を作ることになった。しかし、彼の悪運はそこまで。ベルダンディーの崇高な心と、蛍一への想いが紀元を寄せつけなかったのだと誰しもが考えている……。愛車がフェラーリ288GTOって——ねぇ。ああ、うらやましい。

『ああっ女神さまっ』ゲーム紹介

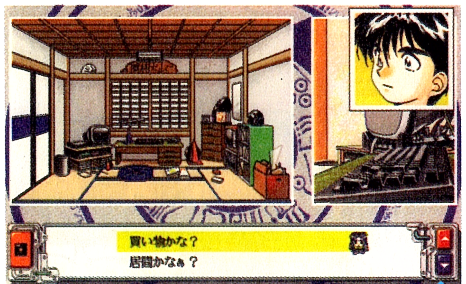
みんなで Let's play

さて、ここでは今回のメインディッシュとでもいうべきゲーム『ああっ女神さまっ』の内容について紹介していこう！

メッセージ選択式のAVG

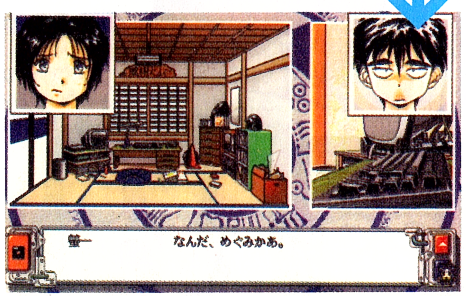
ゲームはメッセージ選択式AVGで、プレイヤーは主人公の森里螢一になり、さまざまな難問をクリアしていくことが目的だ。通常は紙芝居のように、サクサクゲームを進めていくことができ、途中で2種類のメッセージが表示される。そのとき選んだメッセージによって、表示されるグラフィックや行動状況などに違いが現れるというわけだ。これにはかなり大きな分岐点が作られており、1度クリアしただけでは、すべてのメッセージ、キャラクタ（もちろん人物の数も）などを見ることができないようになっている。これによって、マンガを読み返すように何度でも、プレイができるようになっているってわけ。ストーリーは、パソコン版オリジナルとして新たに作られたもので、原作を知らなくても、十分楽しめる。また、たとえ間違った選択をしてしまっても、ゲームに行き詰まるとか、ゲームオーバーがないので、安心してプレイできるぞ。セーブやロードもいつでも可能だ。

BGMはアニメ版と同じく、安田毅氏が担当しているぞ。これによって、アニメ版とのイメージ統一が図られているというわけだね。アニメ用音楽のアレンジバージョンも用意されており、アニメ版を鑑賞してからゲームをプレイしても、ギャップを感じさせなくていいぞ。



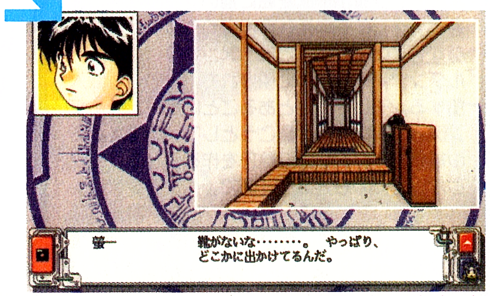
●メッセージは2とおり表示される。どちらでも好きなものを選べるぞ

下の場合



●下を選んだらこのようになった。はっきりいって、この選択はうれしい結果を迎えたようだ!?

上の場合



●こちらは上の場合。ちょっと苦しい展開になってしまったようだけど、ゲームオーバーはないから別にいいか？

数々のイベントがゲームを盛り上げる

ゲームのストーリーは、全3章に分かれている。これらには通常のメッセージ選択方式のほか、さまざまなイベントが含まれているのだ！

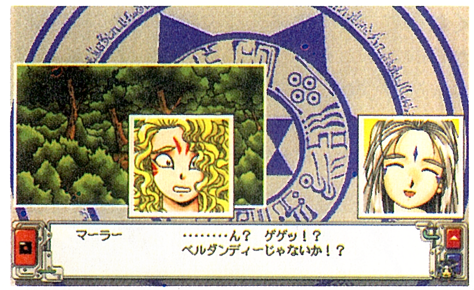
まず第1章では、画面上を逃げ回るミニキャラクタを捕まえることが目的のアクション。捕まえるごとにミニキャラクタの動きが早くなるから大変だ。第2章では、敵の仕掛けたトラップを（メッセージを選択して）避けるといったものと、敵キャラを倒すRPGのような戦闘シーン。なるべく少ない体力消費で敵を倒すってわけ。第3章では、特殊アイテムを使ったモンスターとの戦闘シーン。3人の女神と螢一の力を結集して敵を倒すというものだ。といったように、じつにさまざま。つまり、いろいろなゲーム（イベント）がこのゲームで楽しめるというわけだね。もちろん各章とも、螢一をとりまく人物の日常生活的なイベントも数多く存在しているぞ。

各イベントでは、たとえ失敗してしまっても、ゲームオーバーにはならず、やり直しになったり、ストーリーに微妙な変化が生じたりするだけなので、ワザと失敗して何度でもそのイベントを楽しむことができるのだ。ただし、失敗していると、いつまでもそこで詰まるということもあるので注意。

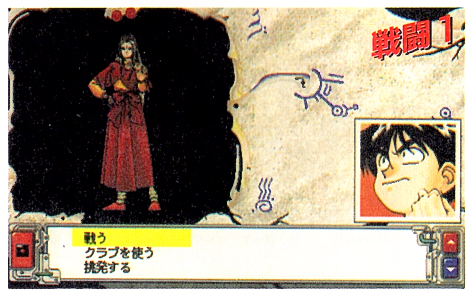
また、各章にはアイテムも存在し、それを使用すると、イベントをクリアするのに有利になることがある。それらを手に入れなくてもクリアすることはできるが、かなり手こずるので、それらを探す楽しみも味わえるというわけだ！



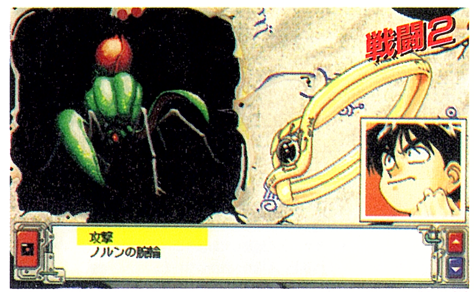
●ミニキャラクタを捕まえることが目的。はっきりいって敵がすばしっこいので、苦労するかもね



●通常に進行している中でも小イベントはたくさんある。全部見たいものだね



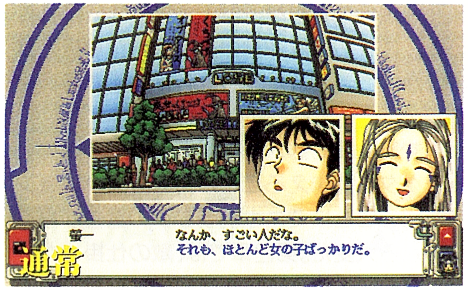
●こちらは第2章での戦闘シーン。螢一の力にすべてがかかってくるぞ



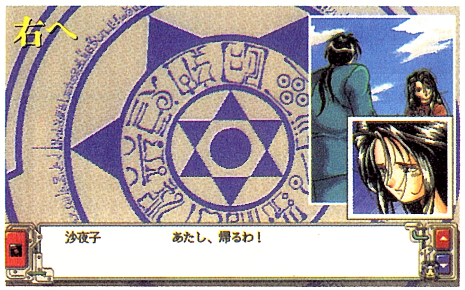
●こちらは第3章での戦闘シーン。3神の力を借りて敵を倒すのだ！

変化に富んだウィンドウ

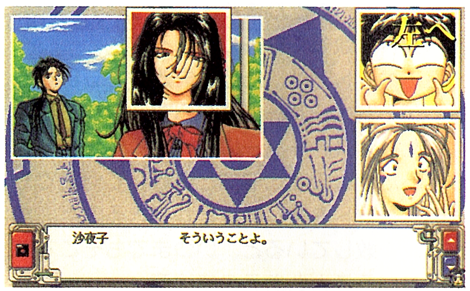
　このゲームのもうひとつのウリは、メインウィンドウやキャラクタウィンドウの表示方法が、普通のゲームとはちょっと違うところだ。メインウィンドウは、一定の場所にあるわけではなく、ストーリーの局面によって、右へ左へと画面上を所狭しと動き回るぞ。プレイヤーを、退屈させない工夫がなされていると言えるね。また、四角い画面を対角線近くの辺で2つに切った(台形)、ちょっと変わったウィンドウも登場するぞ。
　フェイスウィンドウも通常画面同様の動きをし、しかもほかのゲームよりも一回り大きくなっていて、キャラクタの表情の変化もわかりやすくなっているのだ。そして、メインキャラクタ(螢一&女神3姉妹)には、20種類以上の表情が用意されているので、微妙な心理の変化もプレイヤーに伝わってくるというわけだ。
　メッセージウィンドウに関しては、他のゲームとあまり変わらないが、8画面分までメッセージを巻き戻すことができるので、今までのゲーム経過を確認することができる。これによって、メッセージの見落としも防げるよね／



●通常は、画面中央にメインウィンドウが表示される。これだけ見ていると何の変哲もないんだけど……



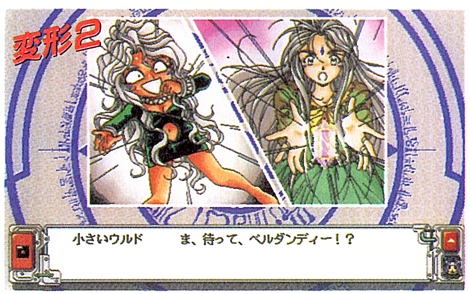
●メインウィンドウが右端に寄った場合。なんとなく寂しい気もするね



●これはメインウィンドウが左端に寄った場合。右にはフェイスウィンドウがきているね



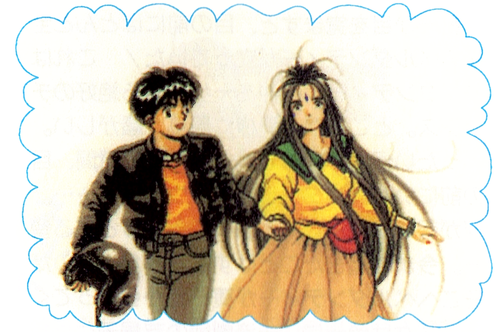
●右端に変形のメインウィンドウが表示された。緊張感を表すときこのウィンドウが表示されるようだ!?

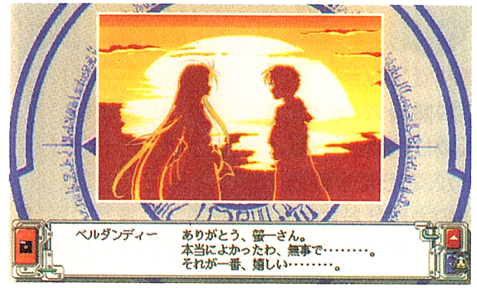


●2つの画面をあたかも通常のメインウィンドウのように表示。これは少し離れた2か所の場所を見せるときに使われる

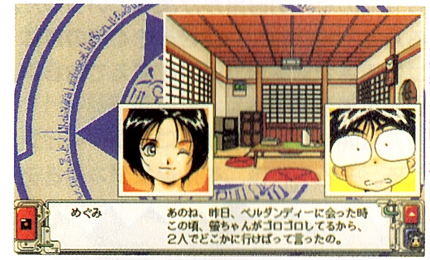
原作の魅力を損なわないグラフィック

　現在流行のアニメーションを使わないかわりに原画はおよそ400枚使用しているので、ファンは必見だ／　また、原作者の藤島康介氏の監修によって、グラフィックには徹底的にこだわっているとのこと。作画はアニメ版も手掛けたAICが担当。だから、アニメのキャラクタとなんら遜色のない仕上がりになっているのだ／


●美しいグラフィックは藤島先生の徹底監修なのだ／



●夕焼けをバックにした2人の描写は、ほのぼのとした原画の雰囲気をそのまま表しているようだ



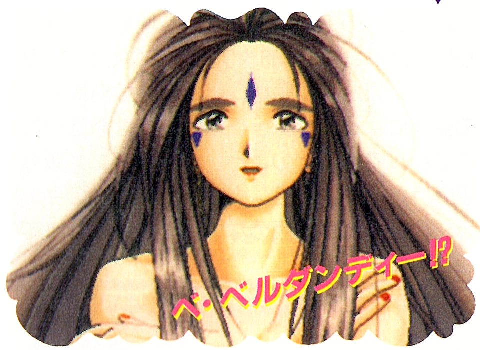
●フェイスウィンドウでもキャラクタの特徴が反映されているゾ



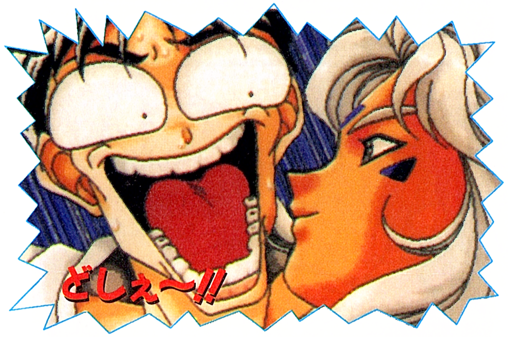
第1章はゲームの始まり〜!!

　螢一が目を覚ますと、目の前にほとんど全裸のベルダンディーが立っていた／　これはベルダンディーとの仲を一歩進める絶好のチャンス。ところが、異様に周りが騒がしい。いったい何が?とは思ったが、その瞬間、目の前にいたベルダンディーがウルドに……。何が起こったんだ／と思って、はっとする螢一。今まで起きたことはすべて夢だったのだ。そこへベルダンディーが買い物から帰ってくる。彼女は螢一に、一流劇団の芝居チケットをもらったので、明日出かけようというのだ。もちろん、2つ返事でOK。さっそく妹の恵にパソコン通信でデートコースを考えてもらい、期待に胸を膨らませる。

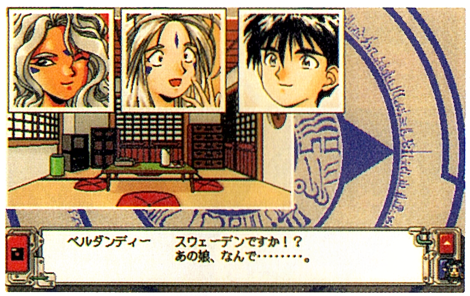
　翌日、玄関でウルドが螢一にネクタイピンをくれる。それを付け、ベルダンディーとデート開始／　劇場に向かう途中、さまざまな人物に出会い、怪しい雲行きになりそうだったが、どうにか劇場に着く2人。そこには、団員の大部分が食中毒にやられてしまって困っている劇団のマネージャー。仕方なく2人は舞台に立つことに……。



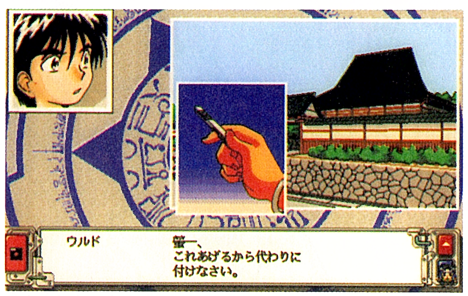
○ベルダンディーが……。こ、このあとの展開に期待大／



○ベルダンディーがウルドに化けた!?　そんなのってありかなぁ?



○みんなそろって話し合い。ベルダンディー、劇場に行ってからその後どうしようか?



○ウルドからもらったネクタイピン。せっかくくれるっていうんだから、もらっておこうよ



○劇場に向かう2人。よし、このデートで絶対にいい感触をつかんでみせるぞ／

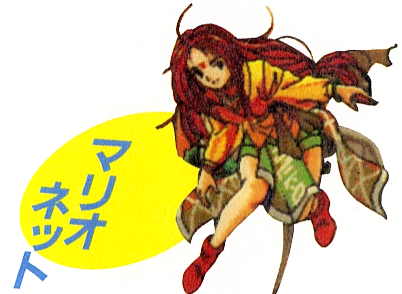
●謎の"フードの女"の正体は?●

　劇団で1回共演することになった2人。その内容は、まるで彼らのことを物語っているかのようだった。2人は終演と同時に、劇場を出ることにした。いっぽう、2人を見守る者があった。その人物は、フードを被った謎の女。実はこの女こそ、螢一らを舞台に出演させることを仕組んだ人物だったのだ。そうとは知らない2人は、デートを再開する。

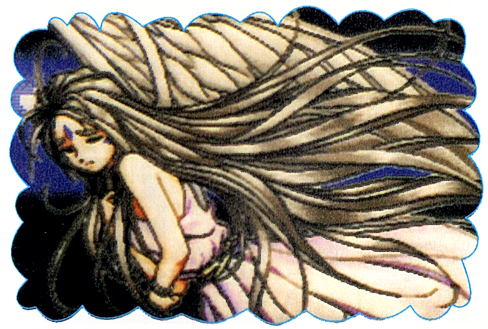
　しばらく歩いているとそこに田宮、大滝両先輩がやって来た。どうやらたかられそうな雰囲気に……。ところが、あっさりと2人は帰っていく。これはおかしいと、螢一らは尾行を開始。その結果、今まで起こっていた不可解な現象は、妖精マリオネットのしわざだったのだ。いったい誰がこんなことを……。苦労しながらも捕まえたマリオネットの証言により、フードの女がカギを握っていることがわかった。さて、こんな手の込んだことをするのは、ホントに誰なのだろう……?



○彼女がフードの女だ。なぜか2人の邪魔をしてくる



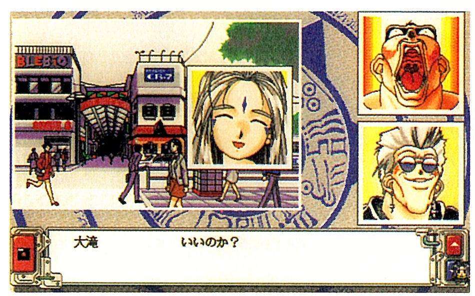
○螢一の周りの人間を操っていたのがこのマリオネットだ



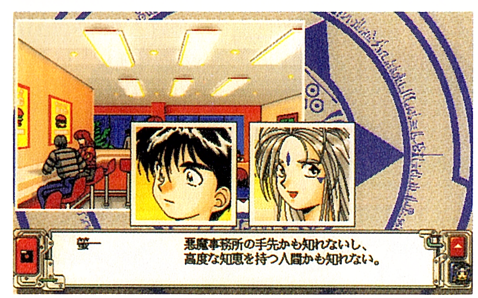
○劇で女神役を演じるベルダンディー。彼女は本当に女神なんですけど（もちろん誰にも言えない）



○劇を見て、ベルダンディーのファンになったというヲ○ク集団。あ、あぶない!!



○両先輩の不可解な行動。普段の行動も不可解だけど、なにかが変だぞ



○ファーストフード店で作戦を練る、螢一とベルダンディー。妙案を思いついたぞ／

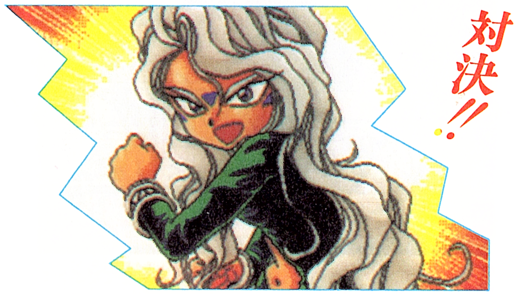
●螢一とベルダンディーのデートは……？●

フードの女の正体を知るべく、ファーストフード店で今までの行動分析と、秘策を練る螢一とベルダンディー。そして妙案が思い浮かび、最後のデートコース・ベイブリッジに向かうことにした。その妙案とは、螢一とベルダンディーがケンカ別れし、フードの女をおびき寄せるというものだった。それにまんまとはまり、ついに2人の前に正体を現したフードの女。逃げようとする女のフードが風でめくれる。そして、その顔が2人の前にあらわになる……。

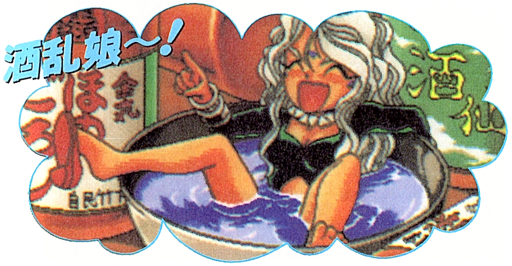
なんと、その正体はウルドだったのだ／　彼女こそ、妖精マリオネットを使い、螢一とベルダンディーをより親密にさせようと考えたのだ。だがその結果、周囲の人物に多大な迷惑をかけたものだったから、当然2人は怒る。これはまずい／と思ったのか、分身して逃亡を図るウルド。こうして、幸せいっぱいのはずだったデートが、最後にはウルドとの鬼ごっこ（？）になってしまう。地下街や公園など、さまざまな場所に散った（逃げ込んだ）ウルドを螢一たちは無事、捕まえることができるだろうか？　そして、このデートの結末はどういうものになるのだろうか……。



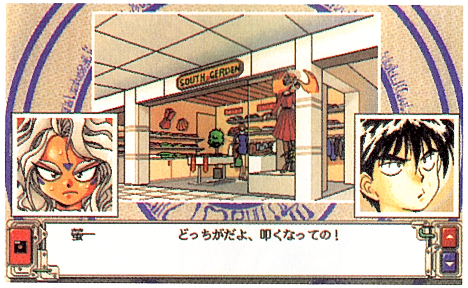
○フードの女の正体は、なんとウルド。なんの目的で……？



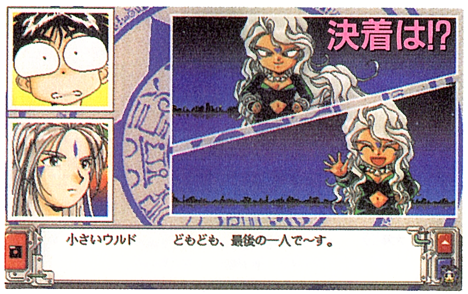
○さあ、ミニウルドとの対決だ／　小さくても、なかなか手ごわい相手だから油断は禁物



○なんと酒場で一杯引っかけていたミニウルド。もう、こっちは苦労して捜し回っていたってのに……



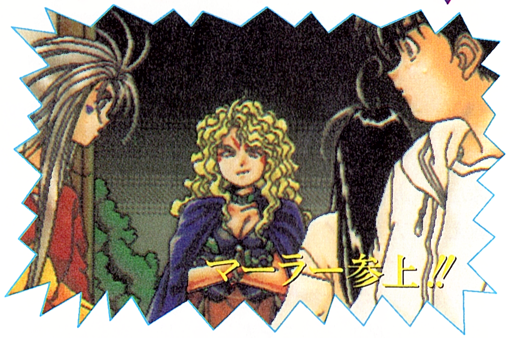
○すばしっこく逃げ回るミニウルド。く、くやしい／　絶対捕まえてやるぞ



○ミニウルドの強力タッグで最後の挑戦を挑んできた。１人でも手ごわいのに２人なんてヒキョー//

第2章　3人姉妹の運命は…？

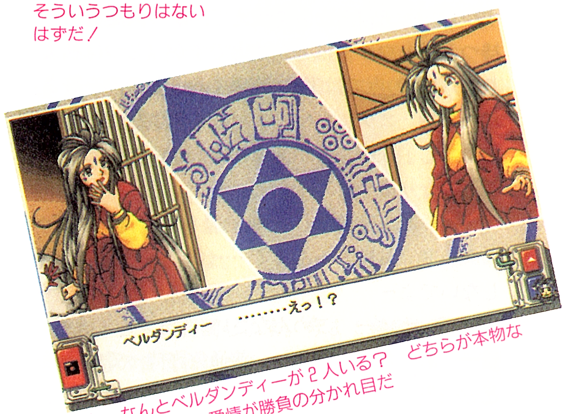
部活のシゴキが終わって帰宅する螢一。その帰り道、サイエンス＆エレクトロニクスショーから帰ってきたスクルドの姿があった。やはり、とんでもない発明品を学者たちに見せてしまったようだ。そしてしばらくすると、緊急事態が起こったのだ／　急いで自宅に戻る2人。そこで待っていたのは、ベルダンディー、スクルドの神界への帰還命令。2人を送り出し、ウルドと留守番をすることになった。が、突然ベルダンディーが帰ってきた。命令が変更され、自宅にて待機となったのだ。そして今度は、玄関から声が……。そこにはベルダンディーとスクルドが立っていた。べ、ベルダンディーが2人いる～？



○混乱のさなか、マーラーがやって来た。はっきりいってとってもウルサイ敵。このまま帰ってくれたらいいんだけど、そういうつもりはないはずだ／



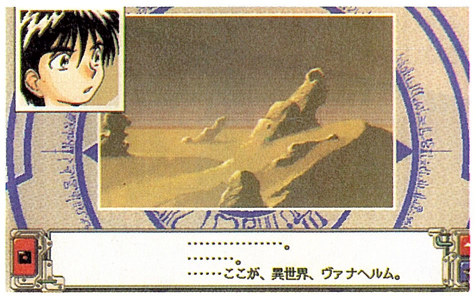
○サイエンス＆エレクトロニクスショーから帰ってきたスクルド。やっぱり問題を起こしたようだ……



○な、なんとベルダンディーが２人いる？　どちらが本物なんだろう。螢一の愛情が勝負の分かれ目だ

第3章　女神様異世界へ…

異世界「ヴィナヘルム」にやって来た螢一＆女神3姉妹。ユドグラシルのエネルギーを流出させている「ルーンの石」の活動を止めるアイテム「ガンバンデイン」を探すためだ。もし、見つけることができなければ、ユドグラシルからエネルギー供給を受けるベルダンディーら3姉妹の命が危ない／　残されたわずかな時間の中で目的のアイテムを探し出すのだ。螢一が神から与えられた「ノルンの腕輪」が今、真価を発揮する。



○ヴィナヘルムは砂ばくがはてしなく続く大地。目的のアイテムを見つけ出すのに苦労しそうだ

ベルダンディーの謎を解き明かそう！
チェックメイトだ！女神様!!

ここでは、女神さまについてわからないことを質問していこうと思う。さあ、どんな答えが返ってくるんだろうね。

みなさんが持っている免許のことについて詳しく教えてください！

ベルダンディー　はい、その質問に関しては私がお答えします。女神には免許制度がありまして、級は使える精度と強さを表し、２種は営業資格を、限定は使える力の種類を制限しているのです。ですから、私は強力な力を使えて、かつ営業資格を持つ女神、ウルドは力が強力ですが（じつは私よりも）精度の点では劣り、管理することのみを許された女神、スクルドは、まだ若く年少なこともあるのでしょうが、力があまり使えない女神ということになります。

ウルド　どうせあたしゃ〜……。

スクルド　お姉ちゃんまで……ぐすっ、子供扱いしないでよ〜

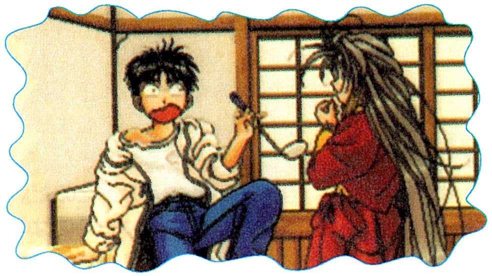
ベルダンディー　ごめんなさい。

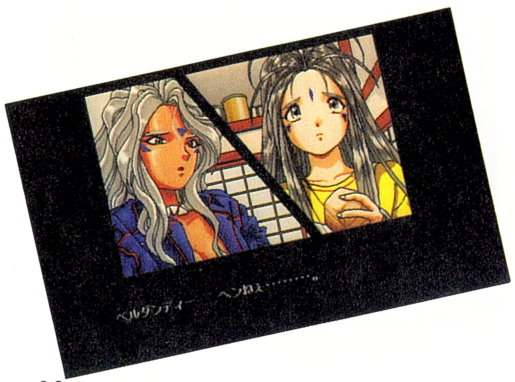
螢一　あ、ちなみにオレ、普通免許持っているけど……？

ウルド　あんたのコトなんて、誰も聞いていないの！

螢一　ご、ごめん（なんで怒られるの？）。

みなさんはどちらにお住まいですか？





螢一　昔は寮生活してたけど、今は猫実工科大学からちょっと離れた、他力本願寺に住んでいるんだ！　ほら、うちの大学寮は女人禁制だから、ベルダンディーと一緒じゃ住むことはできないし……。

ベルダンディー　螢一さんごめんなさい、私のせいで……。

螢一　いいんだよ、ベルダンディー。キ、キミと一緒にい、いられればそれでいいんだ……。

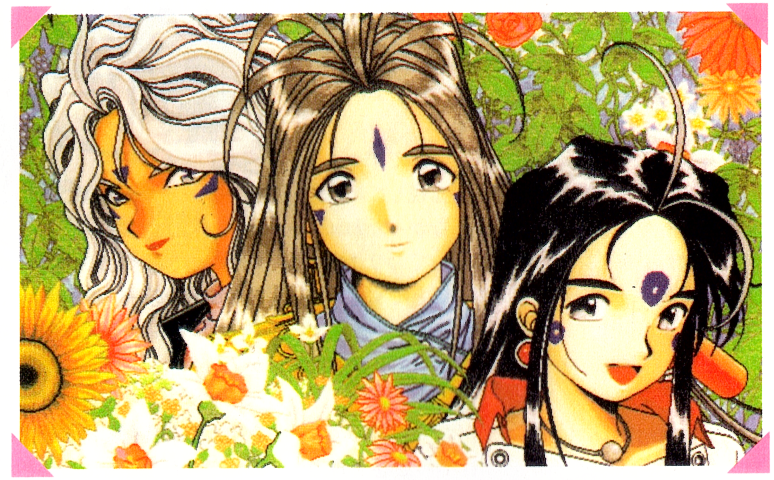
ベルダンディー　螢一さん……。大好きです。

ウルド　ふふふ、次はどうなるかな〜。螢一しっかり！

スクルド　ウルド！　そんなコト言って、あおっちゃダメよ。はい、２人とも離れて離れて!!

ユドグラシルって何ですか？

ベルダンディー　次元すべてを司る（つかさど）管理システムのことです。私たちのエネルギーもここから供給されているのです。現在は、恐怖の大王によって破壊された"宇宙のひも"を修復し、またその代行をしているため、私たちの一切の職務や契約は停止しております（詳しくは単行本６巻参照）。私たちのエネルギー供給もほとんど停止しておりますので、現在は代替エネルギーを使っております。これも螢一さんのおかげです。



螢一　いやぁ、それほどのことでもないんだけどなぁ……。

ウルド　本当はもっと高性能のがほしいけどね。１か月に１回交換するんだと、ほんっっとにめんどくさいもの！

螢一　……。

ウルドさんに質問します。今、何歳なんですか？

ウルド　レディーには年齢を聞いてはいけないのよ。ボ・ウ・ヤ♡

スクルド　おばさんに近い年齢だってことは確かかもね。

ウルド　スクルドぉ〜。あんた、私にケンカ売っているの？　何なら、あのメカだしちゃうぞ！

スクルド　いやん、無意味なメカは見たくもないよぉ〜。助けて、ベルダンディーお姉さま。

ウルド　まったく……。ベルダンディーにだけなつくんだから（ちょっと嫉妬している）。人間の年齢でいったら20代前半なのよ！

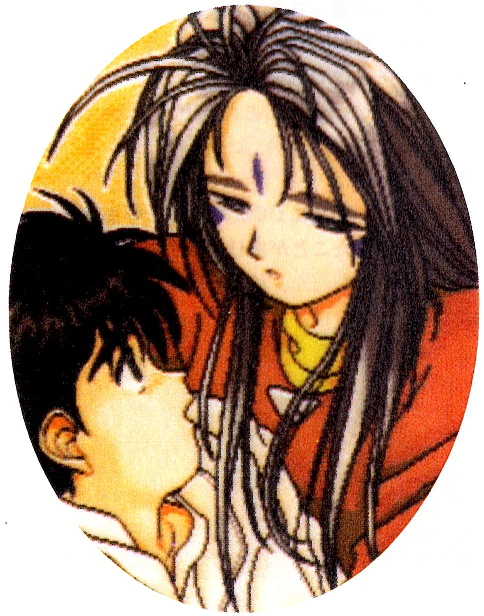
螢一　それにしてもやっていることは高校生レベルのような気も……。

ウルド　電光召喚！　バチバチ〜!!

ベルダンディー　螢一さんっ。大丈夫ですか？　ウルド、あんまり暴れると、また神様から免停を受けてしまいますよ。

ウルド　め、免停……。ううっ。

スクルドさんに質問します。今まで発明した物の中で一番の自信作はなんですか？



スクルド　う〜ん、どの発明品も自慢できるんだけどね……。

ウルド　いつもろくでもないものなのに……。

スクルド　ウルドの薬に比べたら、ずっといいと思うんだけどね。

ウルド　ほぅ〜。いい度胸しているわね〜。

ベルダンディー　２人とも、いいかげんにしなさい！　スクルドは早く質問に答えてあげなさい。

スクルド　は、はいお姉様。やっぱり対マーラー支援攻撃ロボ・ばんぺいくんかな？　ちゃんと動いているし、役に立ってるしね。

螢一　あれのおかげで、オレたちがとんでもない目にあったことを忘れてないだろうな？

スクルド　はは、そんなコトもあったっけ？

螢一&ウルド　笑ってゴマかすなっての！

他力本願寺の住職さんはいったいどこにいってしまったのですか？

ウルド　えっ、その人誰？　私は知らないなぁ……。

スクルド　私も。お姉様、その人誰なんですかぁ？

ベルダンディー　私と螢一さんを監視していたウルドはともかく、スクルドは知らなかったわね。あの方は、現在インドに修行にいっております。近況はわかりませんが、あの方のことです、きっと元気だと思います。

ウルド　え、私はベルダンディーや螢一の監視なんかしていなかったんだけど……。

螢一　そういうことはこれを読んでから言ってくれよな（と、ふところから単行本の２巻を取り出す）。

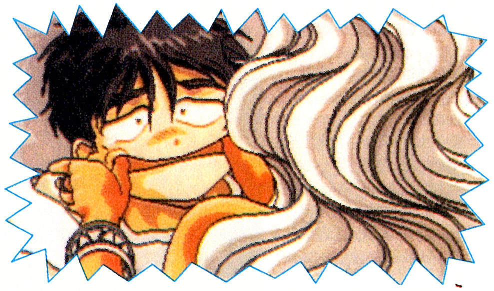
ウルド　ははは……。あ、そういえばこれからテレビで「冬の嵐」の再放送が始まるんだっけ。じゃ、そういうことで。

スクルド　あれ、都合が悪くなって逃げるんだぁ。

螢一　後で吟西酒買ってやるから、最後までいなさい！

ウルド　ラッキー♡　それならずっといるよん。





スクルド&螢一　ゲンキンなやつ～。

ベルダンディーさん、服は何着くらいお持ちですか？

ベルダンディー　普段は物質を原子レベルまで組み換えて衣装を変化させているので、よくわかりません。もっとも、螢一さんから数着買っていただいたものもありますが。それらは私の大切な宝物です。

ウルド　いいなぁ～ベルダンディーは。私も買ってほしい……。

スクルド　ウルドは衣装を変化させる力があるからいいでしょ？　私なんて、力が使えないから、ほとんど同系統の服ばかり。ええぇん（涙）。

ベルダンディー　そんなに泣かないで。あとでアイスクリーム買ってあげるから。

スクルド　乳脂肪分なるべく高いやつね♡

ウルド　モノにつられてる～。

螢一　自分のことは、この際どうでもいいとでも？

ウルド　ははは……。

ウルドさん、聞きにくいんですが、今まで薬の調合って成功したことがありますか？

ウルド　もっちろん、私の薬はいつでも完璧よ！誰もジャマしなければだけど。

スクルド　ろくでもない薬ならばね。

ウルド　あんたねぇ～、私を本気で怒らせるつもり？

螢一　できればウルドには、薬の調合をしてほしくないな……。問題発生の元凶になるからさぁ。

ウルド　私はベルダンディーとあんたのために薬を作っているのよ。それを……。電光召……。

ベルダンディー　およしなさい、ウルド！

ウルド　ちぇ、どうせ私はひとりぼっち。味方なんて誰もいないんだ（イジイジ）。

ベルダンディー　本当はいい人（？）なんですけどね。

みなさん、これからもずっと地上にいらっしゃるんですか？

ベルダンディー　私は螢一さんとの契約のために地上にいたわけですが、今は違います。それは、螢一さんのことが大好きだから、一緒にいたいのです（ぽっ）

螢一　はっ……ははは。

ウルド　ヒューヒュー！　まっ、私の場合は地上が好きだから、ずっといるつもりだけどね。神界に比べて、おもしろいこともいっぱいあるし。

スクルド　私は、ベルダンディーお姉様が帰るといえば、いつでも神界に帰るつもりですけど……。

ウルド　ろくなモノを作らないんだから、早く帰ればぁ～？

スクルド　さっきから聞いていれば……。ウルドだっているだけで周りに騒ぎを巻き起こすだけじゃない。もう限界。食らえ！　スクルドボンバー！

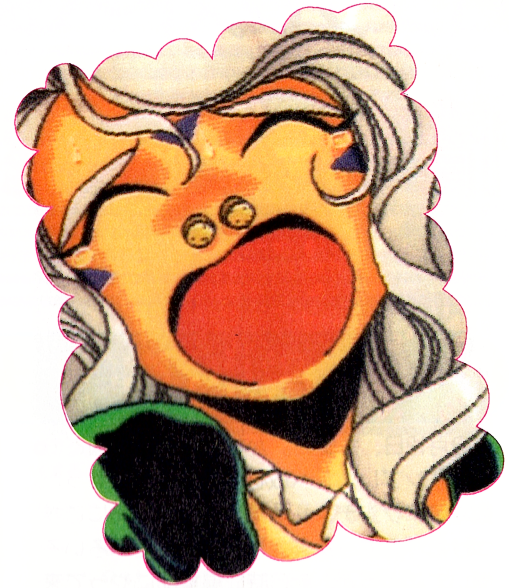
ウルド　こしゃくな、返り打ちにしてくれる。電光召喚！

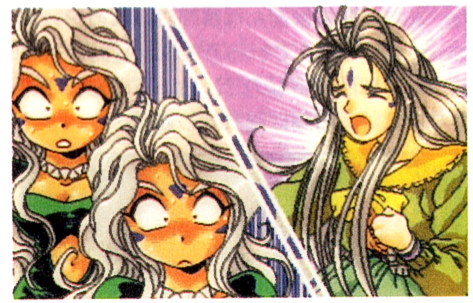
螢一　や、やめろ！　家が壊れる～

ベルダンディー　２人とも、おやめなさい！

スクルド　く、やるわね。今度は結束手榴弾でどうだ～!!

ウルド　こっちは爆雷降臨だよっ！　あんたなんかに使いたくないけどね。





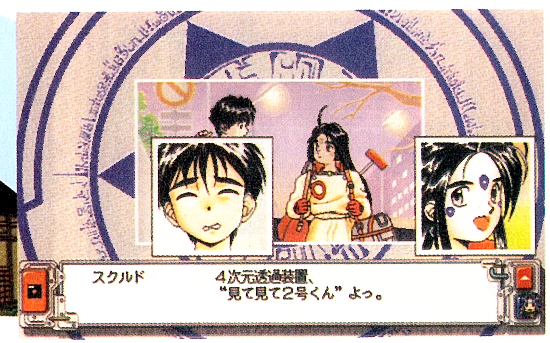
螢一　ああっ、家がバラバラになってしまった……。

ベルダンディー　ウルド、スクルド、いいかげんにしなさい！　免許停止になっても知らないわよ。

ウルド&スクルド　そ、それは……。

他力本願寺





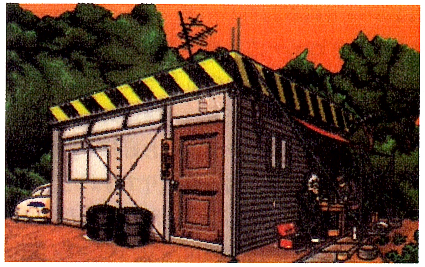
バンプレストへ決死(!?)の潜入

情報大作戦

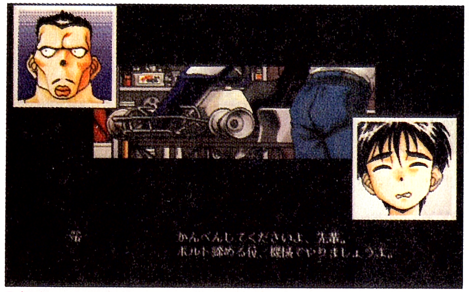
発売元のバンプレストに向けて、決死の潜入取材に行ってみようと思う。最悪の天候の中、はたしてみこしばは無事に帰れるのか？

雪中行軍!? 大荒れの浅草

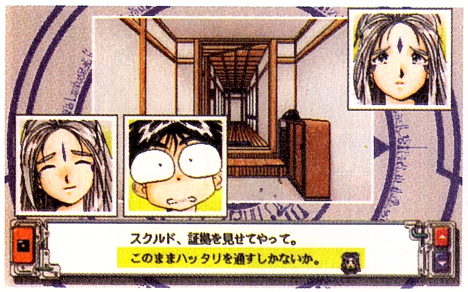
3月12日、金曜日。かねてからの計画どおり、バンプレストへ取材に行くことになった。数々のアクシデントを乗り越えて発売にこぎつけた『ああっ女神さまっ』の話をいろいろ聞いてこようと、朝6時に編集部にやって来た。ああ、最初はどんな質問にしよう？　次は……なんて考えているうちに、12時過ぎ。約束の時間は13時なので、ちょっと急いで行かなければ、時間に遅れてしまう……。そこで、取材道具を片手に編集部を飛び出すと、空から白い結晶が降っている。そう、まさかの雪。3月中旬なのにこんな状態とは、神様の気まぐれ。それともマーラーの妨害工作か？　と思いつつ、新橋駅に到着。ここから都営浅草線に乗って7駅目・浅草に出発。15分ほど地下鉄にゆられて、ついうとうとし始めると、そこはもう目的地。あわてて出口を出ると、ふたたび鬼のような降雪。寒さと飢え(?)に震えながらバンプレストの前に到着したのだ／



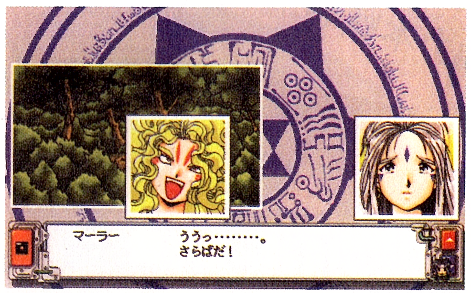
⬆オープニングの1シーン。ここも苦労していそうだ



⬆細かいところまで凝っているグラフィック。どんな苦労が隠されているのだろう？



⬆ゲームシステムも、めったにお目にかかれないもので、楽しめるんだ

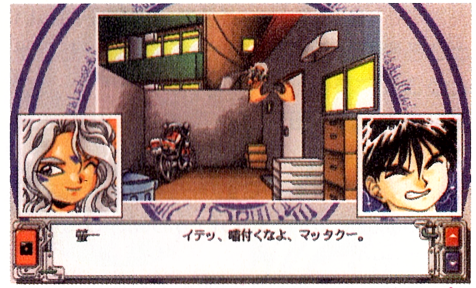


⬆キャラクタ対キャラクタの駆け引きも、テンポよく、時間を忘れてしまうほどのデキ

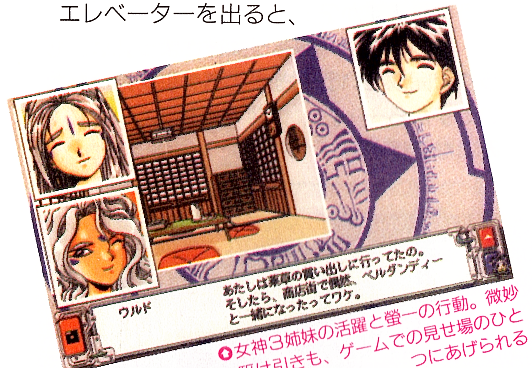
気分は大名／ 社内潜入

バンプレストの正面玄関のショーケースにはたくさんのぬいぐるみが並べてあった。これはクレーンゲームのぬいぐるみであろうか？　ゲーセン小僧だったら、しばらくの間は立ちつくしてながめていることだろう。でもって、入口をくぐると受付嬢が……いない／　どうやら昼休み(到着は12時50分)のよう。少しガッカリ。が、1階の奥のフロアには、やはりゲーセンでなじみ深いマシンの数々。もう、取材を放ったらかしにして遊んでしまおうか悩んだが、帰ってから編集部員の軽蔑のまなざしを受けてしまいそうなので、4階のコンシューマ事業部へ向かうことにした。ああ、もう少し時間に余裕があったらと思いながら……。

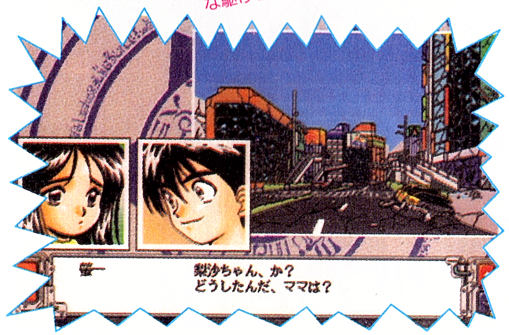
エレベーターを出ると、左手に入口があり、そこをのぞいてみると……。電話の応対でいそがしそうにしている男性を発見。電話内容が少し聞こえる。どうやら、そのほうが『ああっ女神さまっ』の営業担当をしている田中さんだ／と分かる。電話の商談も終わり、こちらにやってきた。全身に緊張感が走る。まず、お互い軽いあいさつをした後、5階の会議室へ通された。そこはなんと、快適といえるくらい暖房のきいた部屋で、会社の重役が座るようなソファーが置かれた部屋であった。う〜ん、外の冷却地獄とは比べられるものではない／　まさに天国といったところ。う〜ん、来てよかった。名刺交換を終えると、さっそく今日の本題である『ああっ女神さまっ』について聞いてみることにした。次のページから、そのときのインタビューを再現しよう。



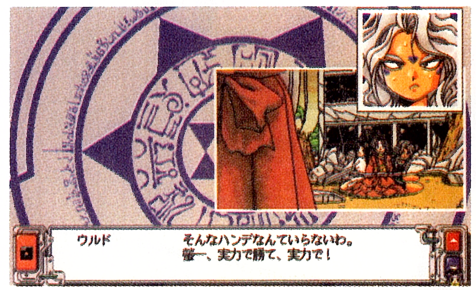
⬆アクションシーンもあるから、いいかげんな気持ちでプレイすると思わぬシッペ返しをうけるかも？



⬆女神3姉妹の活躍と螢一の行動。微妙な駆け引きも、ゲームでの見せ場のひとつにあげられる



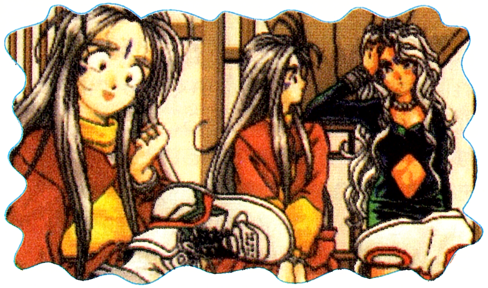
⬆サブキャラクタも登場するので、すべての登場人物を見るのは至難のワザかもしれない

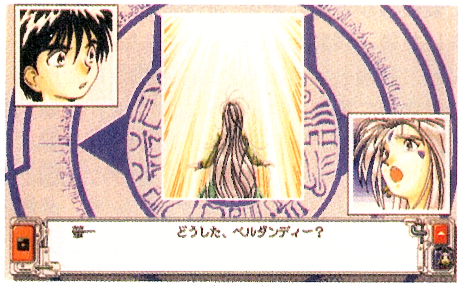


⬆メッセージもキャラクタの特徴をうまく押さえてあり、原作とまったく違和感がないぞ

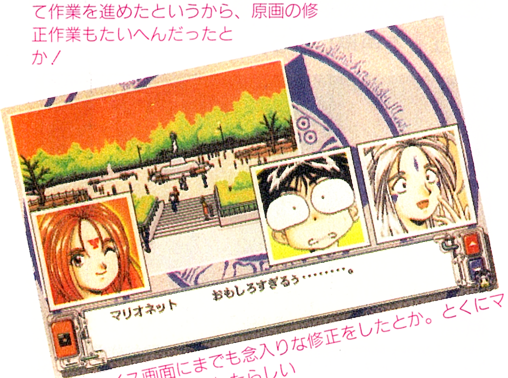
あくまで原画にこだわった！

みこしば（以下み）　どうも、おいそがしいところ時間を割いていただきまして、ありがとうございました。
田中さん（以下田）　いえ、お寒い中お疲れさまです。
み　さて、さっそくですが『ああっ女神さまっ』の開発についていろいろお聞きしたいのですが……。
田　はい、なんなりとお聞きください。
み　ゲームのウリはどういったところでしょうか？
田　原作者の藤島康介先生による徹底監修の作品であるということですね（笑）。
み　といいますと？
田　グラフィックに関して徹底的にこだわったということです。もちろんスタッフもそれにこたえて頑張っていたようです。中には、社内でウルドマスターと呼ばれるようになったツワモノがいるくらいですから(笑)。
み　なるほど……。その状況が目に見えてきそうですね。というと、やはり苦労した点もそうなりますか？
田　じつは、私『ああっ女神さまっ』は、もうすぐ完成というときに仕事を引き継いだものですから……。
み　なるほど。


徹底的にこだわったグラフィック。もちろん、キャラクタに対しても言うに及ばす



原画の絵に似せることを念頭において作業を進めたというから、原画の修正作業もたいへんだったとか！



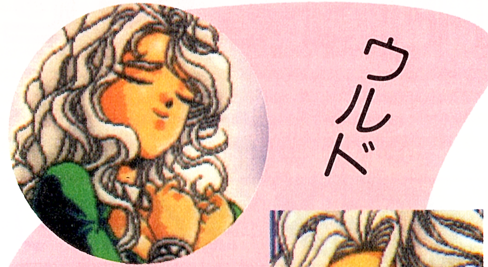
フェイス画面にまでも念入りな修正をしたとか。とくにマーラーの髪には苦労したらしい


『ああっ女神さまっ』のパッケージがこれ。机の上に立てかけておいても恥ずかしくないぞ!?

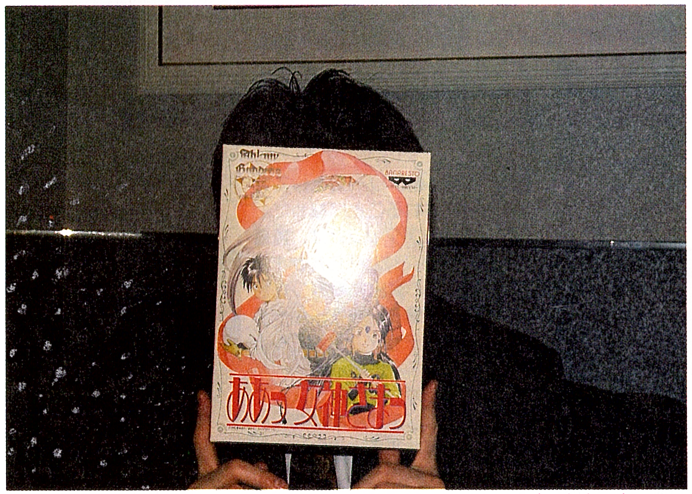
好きなキャラはウルド!?

み　ところで、3神の中でもっとも好きなキャラクタは誰ですか？
田　え、答えるんですか……。困ったなぁ。では、ウルド／ということにしときましょう（笑)。
み　そうなんですか。じつは私もウルドが好きでして。なんていうんですか？　ちょっと色っぽいシーンもありますし♡
田　ははは。
み　最後に、今回は98版のみの発売ということですが、他機種への移植はどうなるのでしょうか？
田　今のところ、その予定はないです。現在市場を調査中ですから、その結果によって、もしかすると……っていうようなことになるかもしれませんね。
み　では、十分可能性はあると？
田　はい、断言はできませんが、前向きに検討させていただきます。
み　となると、テクノポリスの読者が移植を強く望めばもしかすると……。
田　そうなるかもしれません。
み　FM TOWNSなどは有力な機種だと思いますけど……。ユーザーも着実に増えていますからね。
田　MARTYにも魅力を感じますね。これは、私個人の意見ですけど。
み　本日はどうもありがとうございました。次回作も期待しております。
田　どういたしまして。気をつけてお帰りください。

以上のような感じでインタビューを終えたが、市場のことを詳しく話されていたので、もしかしたら移植があるかもしれないぞ。そう思うと、いてもたってもいられなくなり、早足で編集部へ戻ろうとするが、気持ちとは裏腹にカラダがいうことを聞かない。フラフラになってやっと編集部に到着した。寒かった〜／




意外（？）と人気が高いウルド。この美しさが天下に知れわたったとき、キミはきっと後悔するだろう。ああ、あのとき声をかけておけばって（なんのこった？）


こちらが営業担当の田中氏。ガッチリした体格の、とてもまじめな方でした。ちなみに露光不足などの理由で、撮影に成功したのはこの１枚だけだった（涙）

他メディアでの活躍を調査

仲間を捜せっ！

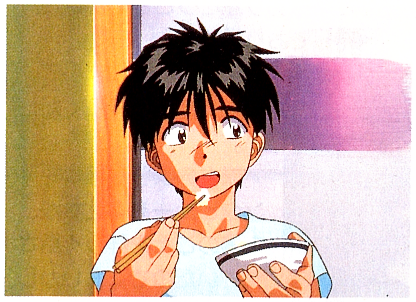
今回パソコン版が発売されたわけだけど、関連グッズはたくさんある。ここではそれらの商品を見せられるだけお見せしよう！

VIDEO 全4巻シリーズとして登場!!

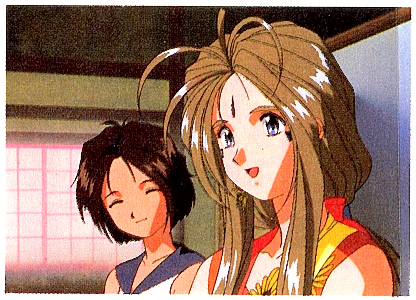
『ああっ　女神さまっ』



単行本7巻勢ぞろい。残念ながら、最新巻・8巻は撮影に間に合わなかったのだ

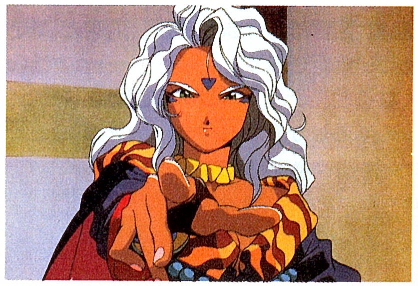


主人公の螢一。相変わらず、ちょっと頼りなさそうだ……



ヒロインのベルダンディー。もちろん文句なく♡♡♡だね

大人気の単行本から姉妹たちが飛び出した。まず、第1巻が2月21日発売になったハイ・クオリティー・アニメーションビデオ「ああっ女神さまっ」があげられる。これは、全4巻のシリーズとして発売される予定で、単行本の1巻～5巻までのエピソードを基本にしてオリジナル性を持たせたストーリーで展開していくという（販売／講談社・日本ソフトシステム）。



ウルド。彼女のあやしさはビデオにも反映されている

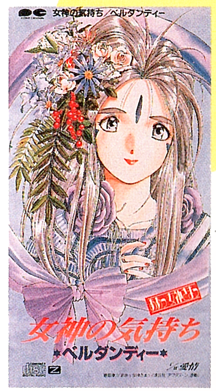
全4巻シリーズとして発売されることになった。制作スタッフには、監督にTVアニメ「らんま1／2」の演出を担当した合田浩章氏。また、キャラクタデザインにはOVA「トップをねらえ！」「バブルガムクライシス」でおなじみの松原秀典氏といった若手の実力派ぞろい。各巻とも、カラー30分。価格は5300円（税込予価）になっている。



CD ファンならずとも必聴！の数々

また、「ああっ女神さまっ」はCDも発売されている。まず初めに、3枚つづりの「三神デビュー・パック」が発売されたのを皮切りに、4枚つづりの「三神セカンドSgパック」などが登場し、現在、その数は全5アイテムとなっている。とっても神々しい女神3姉妹の歌声を聞くことができるんだから、ファンならずとも1度は聴いてみてはいかがかな？　なにかいいことがあるかもよ（発売元／ポニーキャニオン）。

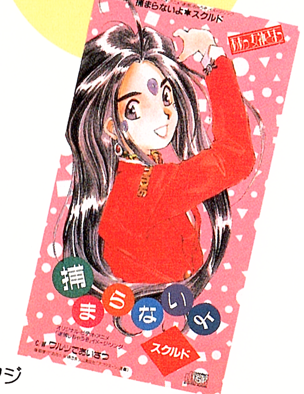
■三神デビュー・パック



店頭でよく目立つ、ちょっと変わったコーラ飴スタイル（？）の4枚セットシングルCDだ。各キャラクタ2曲の計6曲と、3人のデビューに関する20秒CM10本と、原作者・藤島康介先生の新作イラストが7枚付いているのだ。このグッズはバラ売りしており、定価は各1000円。4枚セットは3000円（ともに税込）。

■三神セカンドSgパック

「三神デビュー・パック」に続く、コーラ飴スタイルの4枚セットシングルCD。各キャラクタのオリジナル＆カラオケを各2曲ずつ計12曲と「放っておけないのさ（クレーム対象外編）」を収録。このほか、三神の誰かが着た水着の切れ端のオマケ付き。このグッズはバラ売りはされないとのこと。定価3000円（税込）



■Singles



「三神デビュー・パック」と「三神セカンドSgパック」全12曲（カラオケバージョン除く）に、最新シングル「しあわせが加速する」「神さまの伝言」のスタジオ録音バージョンを収録したベスト・アルバムがこれ。最新シングルの2曲は、三神のコーラス形式になっているぞ。気になる定価は3000円（税込）。

■My Heart言い出せない, Your Heart確かめたい

ハイ・クオリティ・アニメーションビデオ「ああっ女神さま」のオープニング＆エンディング主題歌として使われた曲の、シングルCDがこれ。三神の友だちとして、ビデオの声優さん3人（井上喜久子・冬馬由美・久川綾）がそろってデビューするという作品。オリジナルとカラオケ各2曲の合計4曲が収録されている。定価は1000円（税込）。



■しあわせが加速する

「しあわせが加速する」「神さまの伝言」の2曲のライブ・バージョンが収録されているシングルCD。演奏は、ねずみさん率いる小っちゃいってことは演奏しにくいねバンド。で、このバンドのベーシストこそ、ビデオ＆パソコンゲームの音楽を担当した安田毅氏なのだ。定価800円（税込）。



AH! MY GODDESS
CHARMING BOOK

テクノポリス

1993年5月号特別付録

AH! MY GODDESS
CHARMING BOOK

テクノポリス

1993年5月号特別付録

テクノポリス1993年5月号（第12巻第5号）付録
平成5年5月15日発行（毎月1回15日発行）

ああっ女神さまっ
チャーミングブック

